(別記様式)

令和６年度　府立北桑田高等学校　学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

学校経営方針（中期経営目標）	前 年 度 の 成 果 と 課 題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
1 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応した,特色ある教育の創出 2　少人数教育により個性を活かし,自ら動き,挑戦し,進路目標に応じた学力･能力を身につけ,将来を切り拓いていくことができる生徒を育てる 3　地域や大学等との連携により探求を深め,「広い視野と高い理想」「未知への興味・課題解決の創造性」を育てる 4　郷土の自然や文化を学び,地域や京都府を誇りに思い,前向きに地域と係わり貢献しようとする「地域の担い手」「森の担い手」を育てる	・少人数を活かした個に応じた学習指導,進路指導を進めることができた。予備校サテライト講座,進路講習,模試等を効果的に配分し,難関大学,公務員をはじめ,ほとんどの生徒が希望進路を実現できた ･ICT教育推進を目標に掲げ,タブレットを有効利用した授業の展開やICTを有効活用した授業研究など活発に授業改善を試みる教職員が世代を超えて着実に増加している ･HP,メール,SNS,広報誌,テレビ,新聞等による本校からの情報発信を積極的に行った。本校の魅力を伝える広報活動と入寮生徒の定員に合わせた生徒募集活動と連動させる必要がある ･地元に加え他地域や全国募集による入学生の確保に向けた取組を進めたが,寮整備や通学方法など,更なる条件整備を行う必要がある ･前年度以上に働き方改革を推進するとともに,本校の特色ある教育活動を損なうことなく一層の進展を図る必要がある ･全国的にも稀な小規模校における部活動の成功例となるような活動実績を残すとともに生徒の部活動における充実度,満足度を上げる	1 スクールポリシーに則り地域連携や高大連携等を深め,更なる学校の特色化に取り組む 2 学習指導要領の実施やICT教育の推進のため,本校に適した方策を研究し,教職員研修の充実を図る 3 多様な生徒や進路希望に対し,少人数教育を活かしたきめ細かな指導とともに,地域や大学等との連携により探究を深め,自ら考え,動き,解決しようとする機会を増し進路実現に繋げる 4 本校や地域の発展にも繋がる｢SDGs｣を教育活動の中心に捉え,学校運営協議会による地元幼小中学校や行政・地域団体等との連携を進め,地域に信頼され,地域の活性化に貢献できる取組を更に推進する 5 学科,カリキュラム,学校行事,特別活動,部活動などの特色ある教育活動について,積極的な情報発信を行い,組織的,効果的な生徒募集につなげる 6 喫緊の課題として遠方からの入学者が本校を選択できるよう環境整備に取り組む

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	学校活性化の推進	普通科・京都フォレスト科の教育内容の充実		
		生徒募集に係る諸制度と校内体制の見直し		
		地域連携や大学等との連携による特色化と深い学びの充実		
	「チーム北桑田」としての組織的で効率的な学校運営	校内各種会議の機能的運営		
		分掌間･教科間･学科間等,教職員間の連携強化		
	働き方改革の推進	退勤時間を意識した業務の効率化･合理化		
	教職員研修の充実	ICT教育関連の研究と教職員研修の充実		
		多様な社会情勢を生き抜く「確かな力」を養う学校づくり		
教育課程の編成と実施	生徒･保護者･地域のニーズと期待に応じた教育課程の編成･再考と実施	教科主任会議を中心に課題,修正点の把握と改善を図り,令和７年度以降の教育課程編成に反映させる		
学習指導	生徒の学習意欲の維持・向上	教師が生徒と共有する時間確保のために,主管会議の精選・教育環境の整備・教育計画の工夫と実現		
		生徒が能動的に授業・学習に取り組める環境の確保・整備		
総務企画	学校経営計画に基づいて展開される特色ある教育活動の記録と広報	両学科の学習内容及び学校行事,部活動,地域連携等,全校生徒が創る教育活動と,そこに学ぶ生徒の姿を記録し,広く地域社会に発信する		
	次年度入学生の定員充足率70％,美山中学校・京都京北小中学校からの進学率75％達成	学校説明会の運営や個別進路相談,広報物の発行等を通して,本校を希望する中学生及びその保護者に対して進路指導の一助となる情報提供を対費用効果を考慮しつつ効果的に行う		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
人権教育	生徒の人権意識の向上	生徒の実態に即した人権教育の実施と人権尊重の意識や差別を許さない態度の育成				
	分掌,特に学年との連携を密にする教職員研修の充実	各学年の課題に対する適切な対応				
		教職員の世代交代を踏まえ,これまでの人権教育の成果と課題を引き継ぐ取組の推進				
ICT教育推進	BYOD端末導入や端末・アカウント管理体制の構築	BYODの導入から3年目を迎え,特定の教職員に負担が偏らないよう,端末の導入に関する体制や端末・アカウントの管理体制を構築				
	さらなる業務のICT化の推進	生徒・保護者に配布する文書のペーパーレス化を推進すべく,Teamsや保護者連絡ツールを使用できる環境整備と配信に関する運用体制を構築				
進路指導	３年間を見通した進路指導の推進,主体的に進路を切り拓く力の育成,進路に関する情報提供の充実	学年部,各教科と連携し,生徒一人ひとりの適性・能力を的確に把握し,少人数教育を活かしたきめ細かな指導を通して,希望進路の実現に必要な能力の向上を図る				
		進学講習,サテライト講座,模擬試験等を活用し,学ぶ姿勢の確立や基礎学力の定着を図る				
		保護者向け進路講演会・進路説明会などを通して,保護者への情報提供の充実を図る				
生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識・社会性の養成	「挨拶」「正しい言葉遣い」「身だしなみを整える」等当たり前のことが当たり前にできるようにする				
		SNS等でのトラブルを防げるよう様々な場面で啓発を行う				
		規則違反やマナー違反・不正を許さず安心で安全な学校生活の推進				
	安全教育の徹底	定期的な交通安全指導に加え生徒会とともに交通安全を推進できるようにする				

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
特別活動	生徒会活動の充実	既存の行事だけでなく全校生徒が更に充実した学校生活を送れるよう生徒会が主体的に活動する				
		学校祭でもICTを効果的に活用できるよう取り組み内容を検討する				
健康・安全教育	保健管理、 保健教育の充実	配布物の持ち帰り,分別等,ゴミの出し方について指導し,週３日の平常清掃をしっかり実施する				
		各種健診結果により,生徒への医療機関受診を促進する				
		薬物乱用防止教育や性教育を実施し,生徒の健康に関する意識の向上を図る				
	特別な支援を要する生徒への指導・支援の充実	生徒の状況把握を徹底し,担任団とも連携して情報の共有を図り,個々の生徒への適切な指導と支援に努める				
道徳教育	規律･規範を重んじる姿勢の養成	規則や公共の場におけるﾏﾅｰを守る態度の育成				
	愛情を持って人に接する人間性の養成	各教科や各分掌との連携を図り,人間として望ましい在り方について考える姿勢の育成				
家庭･地域との連携（PTA）	保護者･地域との連携のより一層の強化	地域から注目され,信頼を得られる｢地域創生推進校｣を目指し,地域やＰＴＡと連携した魅力ある学校づくりを行う				
	地域への積極的な広報活動の展開	｢ＰＴＡだより｣等の広報発信を行い,｢みがく､かがやく。｣の実践を発信する				

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
学校図書館	図書・電子資料の適切な活用力の醸成,著作権意識の向上・豊かな読書生活への助長	資料の適切な利用促進				
		著作権意識向上のための情報発信				
		読書活動の推進,読解力向上のための読書推進				
	地域文化の資料・情報収集に努め,地域活性化への貢献を図る	地域の特色である林業を中心に地域に関わる資料の収集,展示				
農場部	「SDGs」持続可能型社会や組織の構築を目指し目標を実現させる教育活動の実践	産学官連携した教育活動の実践				
		提携校（府立大学,府立林業大学校）との連携事業の強化				
		職業教育カリキュラムマネジメントの実践				
	京都フォレスト科の立地条件や環境・施設・設備等を十分に活かせる教育活動の実践	地域環境・地域資源を活かした教育活動の実践				
		知識や技術の向上を目指した研修会の実施				
		安全マニュアルの作成				
	生徒・保護者・地域・社会等の京都フォレスト科に対するニーズと期待に応える教育活動を実践	適時,適切な全体指導と個別指導の実践				
		資格取得の奨励と対策講座の実践				
寮務部	安心で信頼され,円滑な寮生活を送るためのルールや規則の徹底	寮生徒とのコミュニケーションを充実させ,信頼される人間関係を構築し,きめ細やかな生活指導による規則の遵守				
	安全衛生と快適な生活環境の確保及び施設の充実	一人ひとりが健康維持・増進と安全衛生の確保に勤め,施設・設備の点検と改善による快適な生活環境の確保				
事務部	少ない予算を活かした、効率的な予算執行	生徒数の減少に伴う運営費予算の削減を見据えて,光熱費予算等の無駄を省く				
		施設設備の老朽化に対して,状況を分析し更新を含めた効果的な対応を行う				

<table>
<tr><th>評価領域</th><th>重点目標</th><th>具体的方策</th><th colspan="3">評価</th><th>成果と課題</th></tr>
<tr><td rowspan="6">第１学年</td><td rowspan="2">適切な生活習慣の確立と規範意識の育成に努める</td><td>授業を受けるのに適した,落ち着いた学習環境を整備する</td><td></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td></tr>
<tr><td>服装・挨拶・言葉使いなど,高校生としてのふさわしい態度,および自己と他者の双方を尊重する規範意識を育成する</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">学習指導の充実と自主活動への積極的参加を促す</td><td>基礎学力の向上のため,家庭での学習習慣の定着を図る</td><td></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>主体的に学校生活に取り組むための一環として,部活動への積極的加入を促す</td><td></td></tr>
<tr><td>分掌・教科・地域・家庭との連携を密にし,学習と部活動の両立を図る</td><td></td></tr>
<tr><td>保健部や教務部と連携して,支援を要する生徒の情報を共有し,生徒の実態に応じた適切な支援をおこなう</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">第２学年</td><td rowspan="2">適切な生活習慣を確立し、規律意識及び社会人としてふさわしい態度を育成する</td><td>学校生活を通して規範意識を高め,言葉遣いや服装など,高校生としてふさわしい態度の育成を行う</td><td></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4"></td></tr>
<tr><td>授業規律を確保し,家庭学習を習慣化することによって学習意欲を向上させる</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学習や部活動,学校行事等,充実した学校生活がそれぞれの進路実現の基盤となるよう導く</td><td>学校行事を通して仲間意識を向上させ,学校の中核を担う学年としてリーダーシップや協調性を育成する</td><td></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>具体的な進路目標を設定し,適切な時期に面談を行うことで,希望進路を具体化し,進路実現への助言等を行う</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">第３学年</td><td>希望進路実現に向けた指導の充実</td><td>日々の授業を基本としながら,放課後の補習,Web学習サービス等を積極的に活用し,確かな学力の育成を図る。また,保護者との連携を密にして,希望進路実現につなげる</td><td></td><td></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会人基礎力の向上</td><td>学校生活や行事等を通じて,学年としての仲間意識や協調性の向上を図る。また,最上級生としてリーダーシップ及び他人を思いやる心の育成を図る</td><td></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>自身の行動に対する責任と自覚を促し,他者に対する礼儀,提出物の期日厳守等を確実に指導し,社会人としての基礎力の向上を図る</td><td></td></tr>
</table>

教科	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
国語科	学習習慣を確立することによる基礎学力の定着と生徒が興味関心を持ち,主体的に取り組むことのできる授業を目指す	・計画的,継続的な小テストや学習課題を実施し,基礎言語力を向上させる				
		・授業での学びを広げ,深めるために,外部講師と連携した取組を実施する				
		・ICT機器を効果的に活用し,学びの意欲や理解度を向上させる				
	実生活で生きて働く論理的思考と表現力の育成と希望進路実現のために支援する	・日常的に読み,書く機会を増やし,主体的な言語活動を通じて表現力を育成する				
		・自己を見つめ,分析して,表現することで希望進路を実現できるように指導する				
		・各種コンクールへの参加を推進する				
地歴･公民科	歴史,地理,公民各科目において,時事問題とのつながりを意識した授業展開を行い,主権者としての意識高揚をはかる	「教科書をじっくり読んで、アンダーライン」「板書・ワークシートを写すだけでなく,メモの追記」を徹底し,社会の仕組みに関する知識理解を深化させる				
		『大単元・小単元・本時のねらい』を明確にし,資料解釈したり,まとめたり,表現する学習活動を通して,賛否の分かれる時事問題に関して最善解を考えるよう授業改善を行う				
		地方公共団体,各公益団体,大学等が主催する主権者教育,公共政策分野の小論文コンクール等に積極的に応募し,上位入選を目指すことで,学習成果を可視化する				
数学科	コースに応じた授業展開で基礎力,応用力を育成し,新たな大学入試制度への対応を図り,希望進路実現へと導く	多様な生徒の実態に応じ,放課後等の適切な補充指導の実施				
		定期的な課題提出,小テストの実施による基礎学力の定着				
		進路希望に合わせた応用力の充実を推進				
		スタディサプリと併せて進学補習の充実				
理科	生徒の興味・関心・意欲を引き出すような授業の工夫をすることにより,基礎学力の定着並びに科学的思考力の育成を図る	各分野の特性,生徒の状況等に応じて,説明用プリント,問題演習,小テストなどの教材を効果的に使用することにより,生徒の学習意欲を向上させ,基礎学力の定着を目指す				
		ICT機器の活用や計画的な観察・実験を通して,生徒の興味・関心を引き出し,科学的思考力や表現力を育成する				

教科	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
保健体育科	基礎体力・運動技能の向上と健康の保持増進を図る	規律ある効率的で個々に応じた授業展開により体力と運動技能を向上する				
		様々な種目においてICTを活用し運動技能の向上に取り組めるよう活用方法を検討し実行する				
	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を行い,運動の楽しさや喜びを味わうと共に,公正,協力,責任や健康,安全に留意する態度を身につけさせる	仲間との協力やコミュニケーションから様々な事に目配り・気配りできる力を育成する				
		グループ学習で主体的・対話的に取り組むことによるリーダーシップ・フォロワーシップの育成				
		健康運動では,運動やスポーツの多様な楽しみ方を知り,生涯にわたって親しめるスポーツを見つける				
芸術科	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る	芸術表現の基本技術の習得				
		芸術作品の基本的な鑑賞力の育成				
		芸術を愛好する気持ちの育成				
		一人一人と向き合い,創造力や感性を育むゆとりある年間指導計画の実施				
英語科	多様な生徒の実態や生徒の希望進路に応じた指導の実践	「予習⇒授業⇒復習」の学習サイクルを確立させるとともに,小テストをこまめに実施する				
		大学入試に対応できる学力の育成を目的とした進学講習を実施する。また,スタディーサプリを最大限活用し,学力の向上につなげる				
	「４技能５領域（聞くこと,読むこと,話すこと［やり取り］,話すこと［発表］,書くこと）」の育成に向けた指導の推進	英語で生徒が自らの意見や考えを発信するための力を向上させるために,ALTを積極的に活用する				
		4技能を測定可能な実用英語技能検定やGTECを校内で実施し,CEFRレベルA2以上の資格（英検準2級以上）やスコア（GTECスコア　690以上）の取得に向けた,筆記試験や面接・口頭試問の指導を推進する				

教科	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
家庭科	自らの生活課題を解決するために必要な基礎的な知識と技術の育成を図る	生活を主体的に営むために必要な知識と技術を身につくよう課題を工夫する				
		生涯を見通し,生活の中の自らの課題を解決する力を養う				
		ICTを効果的に活用し,主体的な学びを工夫する				
	地域の人々との交流の機会を通して地域生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を育成する	地域と連携することで主体的に学ぶ機会を多く設定する				
		実習,体験を通して,実践的に学ぶ機会を多く設定する				
情報科	魅力ある教材の作成情報の科学的理解	生徒に応じた教材の選定（研修旅行事前学習・本の紹介プレゼンテーションなど）				
		情報モラルやセキュリティ,最新機器に関することの実際の事例による理解の深化				
農業科(京都ﾌｫﾚｽﾄ科)	林業に関係する最新の知識や技術の習得を目指すと共に,京都フォレスト科が持ち得る特性を活かした教育活動を実践する	演習林や木材加工棟での実習を充実させる				
		林業における最新の知識や技術の向上を目指し,実学に基づいた経験,体験を実践する				
	職業教育,産業教育を通して,社会で必要とされる人材の育成を目指す	実学に基づいた経験,体験から自己肯定感を高揚させ,社会を生き抜く「確かな力」や「社会人基礎力」の向上に寄与する				

教科	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
総合的な探究の時間（１年）	北桑田地域の自然,郷土史,民俗芸能を学術的・体験的に学び,その中にある地域社会の課題に対する最善解を周り人々と協力しながら求めていく生き方について考える	第１学期（知識・理解）,第２学期（体験及び研究小論文の作成）,第３学期（小論文論旨発表または英作文によるレポート及び口頭試問）という年間指導計画を創造的に実践する				
		普通科キャリアデザインコースは,講義及び体験学習,フィールドワーク,地域交流を通して,自ら設定したテーマについて,研究小論文としてまとめた上で,論旨発表を行う				
		普通科文理探究コースは,講義及び体験学習を通して感じたことを英作文〔文字数指定〕でレポートし,英語指導助手の添削指導を受け,その後,英語指導助手に対して要約説明を行うとともに,質問に応答する				
総合的な探究の時間（２年）	異文化理解を深化させながら,知識や経験を英語で適切に伝え合うことができるコミュニケーション能力を養成する	生活の中で学んだことや感じたことを,生徒同士で相互に伝え合う機会を増加させる				
		ALTが母国の文化や慣習を伝える活動を増加させる				
総合的な探究の時間（３年）	・地域社会に生きる一人の人間としての自覚を高め,地域の魅力を発信することによってコミュニケーション能力や情報を取捨選択してまとめる力,表現力の育成をめざす ・異文化理解を深化させながら,知識や経験を英語で適切に伝え合うことができるコミュニケーション能力の養成する	地域に発信、提案するプランを作成する事で学習への意欲を向上させる				
		実際にプレゼンテーションをすることにより,表現力の向上をめざす				

学校関係者評価委員会による評価	
次年度に向けた改善の方向性	